

事の際の住民の保護に向けた体制整備に努めます。

昨秋の大雨洪水災害を貴重な教訓とし、消防団や盛岡中央消防署葛巻分署を中心に地域住民の防災意識の高揚、自主防災組織の設置など地域安全のための体制整備を進め、災害に強い町づくりの構築に努めます。また、防火水槽の整備、消防団第十四分団屯所新築への助成など消防施設の充実を図ります。

■交通安全・防犯：交通指導隊を中心に交通安全教育の推進など地域ぐるみでの事故防止や防犯指導隊、防犯協会など関係機関との緊密な連携を図り、安心で安全な町づくりに努めます。



毎年春に開催している交通安全教室（葛巻小）

## 主要施策4 資源を生かした産業を 推進するまぢづくり

■農業全般：大雨洪水災害の復興支援策を引き続き行うとともに、新たに崩落した農地についても同じく支援し、農作物の生産に支障が出ないよう対策を講じます。

農地の利用については、認定農業者を中心に農地の利用集積を図り、遊休農地や荒廃地の解消に努め、有効活用を図っていきます。

家族経営協定、農業委員全員による結婚相談「アトツギー・キューピット事業」、農業に関する情報の啓発、農業者年金の加入推進などに積極的に努めます。

■園芸振興：多様化する販売対策と新規作目にも積極的に取り組み、消費者に期待される産地を構築するため、「新いわたて農業担い手支援対策事業」や夏秋獲りイチゴ栽培研究会への活動助成を行います。

■水田営農：国の米政策改革のもと、平成十九年度からは農業者と農業者団体が主体的に需給調整に取り組むことになっています。葛巻町水田農業推進協議会と連携し、転作田の団地化と土地の利用集積を推進す

## 主要施策3 環境を守り育てる まぢづくり

■一般廃棄物処理：町民のご理解、ご協力により資源化率は年々向上し、平成十七年度の一般廃棄物の資源化率は約二七％です。今後、総排出量の抑制と資源化率を高めるよう努力します。

十九年度から「クリーンくずまき行動の日」に、道路の部、河川の部のほか「山の部」を加え、ごみの不法投棄に対する町民総監視体制の構築に努めます。

■地域エネルギーの活用：「葛巻町ふるさとづくり基金」を活用し、いわて型ペレットストーブ二台を五日市小学校とすみれ荘に設置します。町単独の新エネルギー導入支援事業も継続して行うことにより、エネルギーの地産地消モデル地域を構築し、国の次世代エネルギーパーク認定を目指します。

新エネルギーの動向は、水素・燃料電池とバイオ燃料の開発が目まされています。本町でも、バイオ燃料の開発と利用について、企業や大学、生産者と連携し、可能性について調査します。

るとともに、畜産粗飼料の安定供給と収益性の高いりんどうなど花きの作付けを進めます。

■畜産振興：引き続き「畜産担い手育成総合整備事業」「団体営畜産環境整備事業」により、たい肥処理施設等を整備します。

葛巻ジュニアホルスタインクラブに対し、これまでの運営活動助成に加え、北海道ホルスタインナショナルショーなどへの参加助成を行い、酪農後継者対策を進めます。

■林業振興：新制度による「森林整備地域活動支援交付金事業」を導入し、団地化による森林整備と作業路の開拓拡大を図ります。

また、企業の森や町有林を使った植樹祭の開催や「葛巻町ふるさとづくり基金」を利用した「ふるさとの森づくり事業」により伐採跡地への再造林を十稔実施し、森林を守り育てる意識の醸成と町の豊かな森林を保全し、地球環境改善に貢献します。

林道整備では、緑資源幹線林道葛巻・田子線、県代行林道鈴峠線・畑福線が引き続き実施されます。

■商工業の振興：商工会と連携しながら、TMO事業を推進するとともに、町中心部に集客を図るためのイベント、地産地消の商品開発事業等を支援します。

# 行政改革

町は、平成十七年度に策定した第四次行政改革大綱及び同推進実施計画に基づき、町行政全般にわたる改革を推進しています。

職員と地方債残高の削減  
職員数と地方債残高については、特に数値目標を設定し、重点的に取り組んでいます。

職員数は、十七年度から二十一年度までの五年間に四十一人を削減する計画に対し、十九年度当初で年次計画よりも五人多い十九人の削減となっています。

地方債残高は、十八年度に災害復旧事業費に係る地方債を導入したことから若干増を上回る残高となっていますが、十五年度末の九十四億六千万円をピークに、十

九年度末には七十億円台にまで減少し、二十一年度末には数値目標としている六十四億円以下に削減できる見込みです。

## 機構改革などを実施

職員数の減少を踏まえた簡素で効率的な行政組織の見直しの一環として、機構改革を実施します（本誌16ページをご覧ください）。

協働のまちづくりを進めるため、自治会組織や財政基盤を強化・充実する観点から見直しを進め、行政連絡員、公衆衛生組合、納税貯蓄組合の組織を自治会組織の下で活動を継続することにした。

## ゼロ予算事業の導入

「ゼロ予算事業」は、予算がなければ事業ができないという固定観念を捨て、職員の英知と労力を注ぎ、行政サービスの向上につながる事業を企画・実施する試みで、全庁的な取り組みで職員意識改革にもつなげていきます。

## 平成19年度 ゼロ 予算事業

サービス向上 4月～  
◆予約による役場  
開庁時間の延長

毎週木曜日の総合窓口業務の延長に合わせ、午後7時まで対応します。（詳しくは、本誌21ページに掲載）

サービス向上 4月～  
◆休日診療における病院会計システムの稼働

葛巻病院で休日に診療を受けたとき、その日に医療費の支払いができます。

サービス向上 4月～  
◆自治会等事務サポート事業

自治会が作成する総会資料などを地域担当職員がサポートします。

町民との協働  
◆町刊行物モニター事業

町民モニターを募集し、全戸配布しない町刊行物に対する意見を寄せていただきます。

町民との協働  
◆OB職員行革モニター事業

役場OB職員、また町民の立場から複眼的に行政全般や行政改革に対する意見・提言をいただきます。

町民との協働 随時  
◆あなたと町の「声のキャッチボール」

広報くずまきに町民の皆さんからの意見や疑問に答えるコーナーを設置します。

町民との協働  
◆ノーマイカーデーの推進

町をあげてのノーマイカーデーを設定し、バスの利用促進と環境への取り組みを行います。

町民との協働  
◆くずまきふるさとフォトコンテスト事業

フォトコンテストを開催し、町民との協働によるパンフレットの作成、まちなかフォトギャラリーを行います。

環境  
◆道路・河川環境整備事業

環境保護デーを設定し、職員全員が参加してごみ拾いを行い、町の環境を保護します。

健康福祉  
◆「声の広報」届けます

広報記事をテープに吹き込み、視聴覚障害のある人に希望により配布します。

健康福祉  
◆保育園職場体験事業

子育てに関する職場体験の機会を中学生や高校生に提供します。

産業振興 4月～  
◆あなたの家庭菜園づくりお助けしたい事業

家庭菜園の開設や栽培管理の指導などを行い、遊休農地の解消に努めます。

その他  
◆廃棄予定図書等の販売

公民館図書のうち、廃棄予定の書籍や月刊誌を希望者に安く販売します。

その他  
◆不要物品のオークション

町のイベントを通じて、閉校した学校の不要物品などを希望者に販売します。

\*詳しくは、後日発行の「予算等説明書」をご覧ください。